



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」
フラグシップ園会報
(2014年3月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



大分暖かくなってまいりましたが如何お過ごしでしょうか。
昨年秋に東北から送られてきたどんぐりたちが、東京では発芽しました。
間もなく2014年度の活動が始まります。

(目次)

1. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ2014」活動参加のご案内
 2. 「グリーンウェイブ2014」キックオフ・フォーラム・レポート
 3. JP子どもの森づくり運動活動レポート
 4. 事務局からのおしらせ
- どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編⑮～

■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
- (順不同) (社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾
- (社)日本森林インストラクター協会 NPO法人自然体験活動推進協議会
- NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
- (株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部 保育環境研究所ギビングツリー



1. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ2014」活動参加のご案内

●「子どもの森づくり運動」は、「生きる力」を育むことを目的に皆様と共に活動を推進してまいりました。

そして、その活動に積み上げる『子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」(「東北復興GW」)』の活動テーマは、
3. 11以降の未来を生きる子どもたちの「共に生きる力」であると考え、以下の活動目標を掲げました。

- 1)被災地の幼稚園・保育園の子どもたちと全国の幼稚園・保育園の子どもたちが、どんぐりを育てる活動を通じて繋がり、互いに想い合い、「共に生きる(共生)心」を育んでもらうこと。
- 2)被災地で拾われたどんぐりから育てた苗木による、東北の森の生物多様性的再生活動に貢献すること。
- 3)全国の幼稚園・保育園の子どもたちの活動を「グリーンウェイブ」を通じて、世界の子どもたちの環境活動に繋げること。

●「東北復興GW 2014」では、今年、第一回目の東北での植樹活動を実施します。

2012年秋に東北の保育園から届けられ、全国の幼稚園・保育園の子どもたちによって育てられた“どんぐり”の苗木がふるさとに送り返され、5月22日「グリーンウェイブ」の日に岩手県山田町の森に植えられます。植えられた苗木たちは、森の中でもうしばらく大きく育てられ、やがて被災地の緑の復興活動に役立てられます。被災地に、全国の幼稚園・保育園の子どもたちの「共に生きて行こう」との想いが結実した「子どもの共生の森」が生まれます。

●山田町での植樹活動は、2014年から三年間実施されます。

それに対応して、東北のどんぐりを苗木に育てる活動は、後、今年(2014年)と来年(2015年)の二年間行われます。現在、「東北復興GW」の活動参加園(全国53園)では、ひきつづき2013年の秋に東北の子どもたちが届けてくれ、2015年に植樹されるどんぐりが育てられています。事務局でお預かりしている東北のどんぐりの種にはまだ余裕があります。フラグシップ園の皆様には、この機会に是非「東北復興GW」の活動にご参加いただけます様ご案内申し上げます。

*参加ご希望の方は、別紙用紙にてお申し込み下さい。



2. 「グリーンウェイブ2014」キックオフ・フォーラムレポート

「子どもの森づくり運動」のコラボレーション団体「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会が主催する「グリーンウェイブ2014」キックオフフォーラムが開催されました。本フォーラムは、「グリーンウェイブ」に関わる国内外の最前線の情勢や、さまざまな広報資材や教材「等の紹介、そして全国の自治体や大学、企業、NPO等が取り組む活動の環を拡げる先進事例の紹介を通して、「グリーンウェイブ」の活動の裾野を広げ、活動を深めていくことを目的に開催されました。「子どもの森づくり運動」は「グリーンウェイブ2014」のサポートコンテンツとして事例発表の機会を得、「東北復興GW」を中心にプレゼンテーションを行いました。

□実施概要

1. 日 程:2014年2月28日(金) 13:30~18:00
2. 場 所: 港区立エコプラザ(東京都港区浜松町1丁目13番1号)
3. 主 催:「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会、公益社団法人国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議
4. 共 催:港区、経団連自然保護協議会
5. 後 援:環境省、農林水産省、国土交通省、国連生物多様性10年日本委員会、生物多様性自治体ネットワーク、国際自然保護連合日本委員会、その他



3. JP子どもの森づくり運動活動レポート

「子どもの森づくり運動」の活動に本当に熱心に取り組んでいらっしゃる、埼玉県「児玉保育園」の2013年秋の活動風景を一挙にご紹介します。レポートは、ガンバルマン・清水先生です。

■「子どもの森づくり運動」種拾い会 ・日時:2013年11月1日(金) ・場所:城山公園 ・インストラクター:神座氏
昨年は不作でありましたが、今年は豊作でたくさんのどんぐりを拾うことができました。



■「子どもの森づくり運動」植樹会 ・日時:2013年11月13日(水) ・「ふるさとの森公園」 ・インストラクター:神座氏
急に寒くなってきて土も冷たく感じる中でしたが、二人組のペアで苗木を持ち「このくらいの深さでいいの?」「斜めになっているよ」など、植え付けの様子を話し合いながら植えつけていました。



■「東北復興グリーンウェイ」東北のどんぐりの種植え付け ・日時:2013年11月12日(火) ・場所:園庭
今年の年長児も東北の震災を覚えている子が多く、DVDで、東北の保育園に押し寄せた津波の様子を見ると、思わず「わあー!」「かわいそう」などの声が出ていました。種を(ポットに)植え付ける時にはひとつひとつそっと大切に植えていました。



4. 事務局からのお知らせ

1)「東北復興GW」参加園の皆様へ～苗木を見送る活動のご提案～

「東北復興GW」における第一回目の植樹活動が、2014年5月22日(木)に岩手県山田町にて開催されます。

活動では、まず参加園から山田町に向けて苗木を送っていただくことから始まります。本活動の目的は、全国の参加園の子どもさんと被災地の子どもさんを『どんぐりの絆』でつなぐことが目的ですので、苗木を送る際子どもさんたちの記憶に残る「苗木を見送る会」を是非、開催していただければと思います。苗木を受け入れる山田町の保育園さんのご事情で、苗木を見送る活動は、5月のGW明けの5/7～5/17の11日間に限られております。早めに開催予定を事務局宛にお知らせいただけますようお願い申し上げます。なお、現在事務局では、「東北復興GW」オリジナルの「どんぐりBOX」を製作中です。完成次第、お送り申し上げます。(「どんぐりBOX」デザインイメージ案ご参照)



2)「OUTDOOR DAY JAPAN 2014」出展のご案内

「子どもの森づくり運動」では、今年も下記の日程で、「アウトドアデイ2014」に出展します。

様々なアウトドアアクティビティの普及拡大のために行われているもので、今年で14回目を迎える国内最大級のアウトドアイベントです。ご興味のある方は是非ご来場下さい。

○主催：一般社団法人 日本オートキャンプ協会

○開催日：2014年4月5日(土)～6日(日) 10:00～17:00 (雨天決行)

○開催場所：代々木公園(イベント広場・けやき並木) ○入場料：無料



●どんぐり博士の育苗講座 2014～基本編⑮～

* 植樹について続けてお話ししています。1本1本の苗木の植え付けが理解できて、いざ植樹をしようという段になって悩むのが、苗木をどのくらいの間隔(密度)で植え付けるのが良いかです。今回からそのことについて考えていきます。

どんぐり博士：河内和男(森林インストラクター)



木を植えるということでは、みなさんの幼稚園や保育園の園庭などにもより良い保育と教育の環境のため、色々な木々が植栽されていると思います。庭や公園などでは、大きな苗(背丈1～3m程度)を必要な場所に植樹し、それらを枯らさないように育てて植栽を完成させます。しかし、3年目の10数cm程度の苗を使用する植樹の場合、庭などの植栽造りとは異なった考えで植樹を行います。今回はその違いを説明します。

小さい苗の場合、植樹後に自然の厳しい環境にさらされ、ある程度の割合は枯死してしまうと考えられます。また成長途上の若木を、厳しい環境にできるだけさらさないため、苗木同士を近づけて植樹するようになります。その結果、一般的な植樹では、成長した木々によって造られる森に必要な本数より、かなり多めの本数を植樹することになります。

植樹や森づくりの方法には色々な考えがあり、一概に断言できないのですが、以上に記したようなことから、植樹した苗木全てが成長し森を造るのでは無いこと、場合によっては人が手を入れて、間伐などの森づくりを行う必要が有ることの2点を、植樹の基礎知識として頭に入れて置いて下さい。

それでは次回、具体的な植樹間隔や、適正な密度の森について述べたいと思います。